



# 私

は21歳の時に西部歩兵第18部隊に入隊しました。3か月の強行訓練後、一緒に入隊した約300人中、270人は戦地へ、残り30人は次々に入隊する新兵の訓練助手や連隊並びに中隊の事務に従事しました。私は第八中隊の功績係(事務)で、戦地から送ってきた兵隊の功績を詳しく記した文書を整理して記録するのが仕事でした。沖繩が昭和20年の4〜5月に米軍の占領同様になった時、当時働いていた鹿児島市内の上空には米軍の大型爆撃機ロッキードと戦闘機グラマンが毎日飛来していました。ロッキードがあまりにも高度を飛行するため、日本軍の攻撃は何回発射しても届かず、日本と米国の兵器の優劣の差は耳にしていました。またこのような現実を目の当たりにして、いよいよ日本の敗北は近いと感じました。8月15日正午に天皇陛下のお言葉があり終戦。私たち軍人は正座し、大声で泣きました。

(立元明光さん・96歳・男性)

いただいたお便りを読んで、当時を生き抜いて来られた方々の苦労や悲しみは、想像を絶すると感じました。戦争を体験された皆さんの記憶を、戦争を知らない私たち世代が、今後どのように次の世代へ引き継いでいけるのが課題だと思っています。今月は「戦争の記憶を語り継ぐために」と題して特集を組んでいます。若い世代をはじめ多くの人に読んでいただき、戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さなどについて、改めて考えるきっかけになればと思います。

# 4

月16日の熊本地震で車中泊をしておりましたが、ご縁があり鹿屋で仮住まいすることができ、とても感謝しております。地震がなかったら一生来ることがなかったかもしれない土地で、今は皆さんの温かさをいただきながら、生活しています。鹿屋をたくさん散策しております。(あーちゃんさん・64歳・女性)

「あーちゃん」さんは、ご縁があつて鹿屋市に来られたとのこと。いろいろなところを見て回っておられるんですね。これからの時期は秋に向かって食べ物がいよいよなる季節です。鹿屋の旬の食べ物もぜひ味わってほしいと思います。また被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

# F

Mかのやについての特集記事、楽しく拝見しました。開局10周年なんですね。おめでとうございます。私も毎朝「おおすみおはようラジオ」を聞いています。今や名物パーソナリティーの前原さとみさんの元気な声で「よーし今日も頑張ろう!!」という気分になるので、地元の話題、イベントなど盛り沢山で、なくてはならない存在となつていきます。20周年に向けて頑張ってくださいね。(H・Aさん・53歳・女性)

広報かのやへのご感想ありがとうございます。コミュニティFMの魅力の一つとして挙げられるのが、地域に根ざした放送内容が多いことではないでしょうか。地域ネタだからこそパーソナリティーとリスナーのやり取りがさらに盛り上がるんだと思います。今後もどんどんリクエストやメッセージなどをFMかのやに送ってくださいね。また、鹿屋の行政情報「かのや市政インフォメーション」もお聞きください。

このほか複数のお便りをお寄せいただきました。今号で掲載できなかったお便りについては、ホームページで公開しています。

✕キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.255

## 市民の皆さんからの お便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒893-8501 鹿屋市共栄町 20-1  
市政推進課

「市民のひろば」係

☎ 0994-31-1123



お手数ですが  
52円切手を  
お貼りください

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要